

Openに、Fairに、Bestを尽くして 環境課題に対処します

地球上に生息している生物は、原始の海から陸に上がり、環境の変化に対応して多様に進化して来ました。しかし私たちに豊かな暮らしをもたらしたはずの20世紀はその環境に多大な影響を与えてしまい、太古より生き抜いてきた生物の生存すら危ぶまれる状況になってしまいました。我々個人はもとより、これからの企業活動は「環境との調和」を第一に考えることが不可欠です。

日東電工では、グループ会社全てに環境予算を設定し、2001年度は、産業廃棄物の廃棄量、有機溶剤排出量に関して削減目標を1年前倒しで達成し、更に高い削減目標を掲げてチャレンジしています。また、環境会計を対策や成果に繋げるための評価としてフローコスト会計の導入に、他社に先駆けて取り組んでいます。今後とも「出口対策から源流対策へ」を合言葉に「環境経営」を実践して行くことをお約束します。

当社は、すべてのことをオープンにして、フェアに判断して、出た結論にはベストを尽くす、「Open、Fair、Best」の精神で環境問題にも取り組みます。この環境報告書には、2001年度の取り組みと結果をまとめました。日東電工グループの環境活動を多くの方にご理解頂くとともに、皆様からのご提案、ご助言を賜りたいと存じます。



代表取締役社長

竹本 正道